



いさり火

【第11号】

西津小学校

令和7年1月8日

HAPPY NEW YEAR

旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。



新年明けましておめでとうございます。



保護者の皆様におかれましては、おだやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。「巳年」の2025年（令和7年）が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様には、旧年中は本校の教育活動に対し、深いご理解と多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、教育には、「不易と流行」という言葉がよく使われます。「不易流行」とは、俳聖：松尾芭蕉が「奥の細道」の旅の中で見出した蕉風俳諧の理念の一つだそうで、芭蕉の俳論をまとめた書物『去来抄』では次のように書かれています。

不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず



これは、「良い俳句を作りたかったら、まずは普遍的な俳句の基礎をちゃんと学ぼう。でも、時代の変化に沿った新しさも追い求めないと、陳腐でつまらない句しか作れなくなるので、気をつけよう」という意味だそうです。

前置きが長くなりましたが、教育においても「時代を超えてずっと価値のある『不易』」と「その時々時代の变化に合わせて変えていく『流行』」の両方が大切だとされています。昨今のコロナ禍においては、学校行事はもとより、普段の学校生活の中においても、これまで「当たり前」になっていた教育活動の見直しや何が大切で何が必要かを改めて考える良い機会になりました。この貴重な経験を基に、改めて「不易と流行」に目を向け、子どもたちの10年後、20年後を見据えた教育活動にしていくためにも、変化を恐れることなく、精査するとともに有機的な実践をしていく、そのような年していきたいと考えています。



2/8（土）学習発表会を開催します！



12月末にお知らせしましたように、2月8日（土）に『学習発表会』を開催します。本校は、スクールプランの重点目標の1つに「ふるさと大好き子」を掲げ、「ふるさと小浜・西津をさらに好きになる子」と「ひと・もの・ことと関わりながら、今より深くふるさとについて考えることができる子」の育成を図るために学年ごとに取組を進めてきました。今年度は、これまでの一連の活動を通して、今まで以上にふるさと西津に誇りと愛着を持ち、ふるさとを大切に思う気持ちが高まっています。また、子どもたち自身が地域の一員であるという自覚を持つなど成長が実感できる活動となってきています。この取組について当日は発表させていただきますので、ぜひ子どもたちの学びを見ていただきたいと思ひます。多数の皆様のご来校をお待ちしています。

2025年（令和7年）も西津小学校教職員一同、一丸となって子どもたちを主役にした教育活動の実践に取り組んでいきます。保護者の皆様や地域の皆様には、本年も本校の教育活動に、ご理解とご協力、ご支援をいただきますよう心からお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

学校 HP を
ご覧ください

